

和田龍磨研究会 2023 年夏合宿度成果報告書

(C) 研究会合宿・研究会が主体となった学術交流活動

概要

本合宿は、2022 年度春学期の講義の一環として、国際金融論に関連したテーマについて集中的に学び、理解を深めることを目的として実施された。

6/10(土) から 6/11(日) の期間で、千葉県サンシャイン白子を会場とし、合計 8 時間の発表・論を行なった。

SFC の当研究会メンバー 10 名に加え、経済学部 Pearl (Programme in Economics for Alliances, Research and Leadership) にて和田先生の指導を受ける経済学部 3・4 年生の 9 名を加えた合計 20 人で実施された。

卒論生 4 名に加え、その他の学生による 5 グループによる計 9 個の発表を行い、各発表に付随したディスカッションを英語で実施した。また発表時間外においては、SFC と経済学部の研究会のメンバー間で、同じ学問的興味を持つ者として、また同世代の学生として交流を深めた。

研究成果/研究成果の今後の活用

当研究会は、国際金融論と計量経済学のそれぞれをテーマとしてする 2 つの研究会からなる。国際金融論のパートでは、Mishkin (2021) と Prasad (2021) 、Wall Street Journal などの英字新聞を主な文献として扱い、輪読、議論を行い、主に国際金融論の基礎、デジタル通貨について学びを深めている。計量経済学パートにおいては James H. Stock, Mark W. Watson (2019) を輪読し、ビッグデータと呼ばれる規模の大きなデータについての分析手法を学び、MATLAB を用いた分析と合わせて学んでいる。そうした研究会での学びを踏まえ、今回の発表においては主に、それぞれのテーマに関連した事例の調査、実際のデータを用いた定量的な分析がなされた。

グループによる研究発表においては、5 つのグループそれぞれが、国際金融論に関連した現代的なトピックを選び、先行研究や事例の調査、今後の展望などについてまとめた。

実際に扱われたテーマは、主に” デジタル通貨”、” 金融危機”、” ESG 投資”、” カーボンプライシング”、” 人工知能による政策立案” である。

例えば、デジタル通貨をテーマとした発表においては、デジタル通貨の技術的背景を理解することに加え、さまざまな事例分析を用いて、その可能性や問題点、社会における適用可能性や政策立案について議論がなされた。

いずれのテーマについても、現代の問題と過去の問題は地続きであり、全体を俯瞰するためにはその両方に対する理解が求められる。発表をまとめる過程を通じて、各人が先行事例、歴史的背景に

についての知識を得るとともに、それらのメカニズムを説明する経済的な理論に対する理解を深めた。

また、4名の学生が行なった卒業論文の中間発表においては、研究会での学びを中心に、他方でそれらに囚われない、各自の興味と絡めた多様なリサーチクエストに対して、パネルデータや時系列データを用いた計量的な実証分析によるアプローチが見られた。

SFC生の卒論発表では、近年SDGs/ESGの文脈などで重要性が高まりつつある、企業の非財務情報の開示の、企業価値に対する影響について研究を行なった。

具体的には、2015年から2022年の期間において、日本企業137社の各種財務データ、統合報告書の開示状況のデータを用い、統合報告書の開示と株価(PBR)についての回帰分析を行なった。発表後には、研究内容についてのフィードバックを行うとともに、今後の研究課題についても大変有意義なディスカッションがなされた。

これらの発表は、実際のデータを用いモデル化することで、各自が持つリサーチクエストを解き明かすことができる可能性を示し、次年度以降卒業を予定している学生にとっても大きなモチベーションとなり、今後の勉学や研究の端緒となることが期待される。

謝辞

本合宿は、慶應 SFC 学会による研究助成金を受けて実施された。助成金による経済的負担の軽減は、積極的な参加を促し、最終的には研究会メンバー全員が参加することができた。宿泊先のサンシャイン白子には、様々な調整、配慮を行っていただき、円滑な合宿を実施することができた。重ねて感謝申し上げる。

参考文献

Mishkin, F. (2021) *The Economics of Money, Banking and Financial Markets*.

Prasad, E. (2021) *The Future of Money: How the Digital Revolution Is Transforming Currencies and Finance*.

James H. Stock, Mark W. Watson(2019) *Introduction to Econometrics, Global Edition*